

日 時 平成22年3月3日(水) 午前10時 開 会

出席議員 (16人)

| | |
|-------------|-------------|
| 1番 工 藤 和 子 | 2番 大久保 朝 泰 |
| 3番 大 溝 雅 昭 | 4番 工 藤 俊 広 |
| 5番 工 藤 禎 子 | 6番 村 上 啓 二 |
| 7番 北 山 一 衛 | 8番 佐々木 隆 |
| 9番 後 藤 秀 憲 | 10番 山 田 鉦 一 |
| 11番 鳴 海 泰 三 | 12番 中 田 博 文 |
| 13番 斎 藤 直 文 | 14番 工 藤 賢 治 |
| 15番 福 士 幸 雄 | 16番 村 上 隆 昭 |

欠席議員 (なし)

出席要求による出席者職氏名

| | |
|--------------------------------|----------------------------------|
| 市 長 鳴 海 広 道 | 副 市 長 玉 田 芙佐男 |
| 総 務 部 長 鳴 海 勝 文 | 企画財政部長 山 田 良 一 |
| 民 生 部 長 三 浦 裕 寛 | 福 祉 部 長 齋 藤 繁 人 |
| 農林商工部長兼 バイオ技術センター所長 小田桐 正 樹 | 建 設 部 長 佐々木 武 市 |
| 会計管理者兼 会 計 課 長 福 坂 直 栄 | 上下水道部長 角 田 祐 一 |
| 黒石病院 事 務 局 長 村 元 英 美 | 秘 書 課 長 種 市 齊 |
| 財 政 課 長 成 田 耕 作 | 国保医療課長 福 士 勝 彦 |
| 福祉総務課長 奈良岡 和 保 | 農 林 課 長 兼 バイオ技術センター次長 工 藤 秀 雄 |
| 監 査 委 員 廣 瀬 左喜男 | 教 育 委 員 会 委 員 長 篠 村 正 雄 |
| 教 育 長 横 山 重 三 | 教 育 部 長 久 保 正 彦 |
| 選挙管理委員会 委 員 長 乗 田 兼 雄 | 農 業 委 員 会 会 長 佐 山 秀 夫 |

会議に付した事件の題目及び議事日程

平成22年第1回黒石市議会定例会議事日程 第1号

平成22年3月3日(水) 午前10時 開 議

第 1 会議録署名議員の指名

第 2 会期の決定

- 第 3 報告第 1 号 平成 21 年度黒石市一般会計補正予算(第 8 号)について
- 第 4 報告第 2 号 平成 21 年度黒石市一般会計補正予算(第 9 号)について
- 第 5 報告第 3 号 権利の放棄について
- 第 6 議案第 1 号 黒石市観光施設事業特別会計経営健全化計画の策定について
- 第 7 議案第 2 号 黒石市温泉供給事業特別会計経営健全化計画の策定について
- 第 8 議案第 3 号 黒石市下水道事業会計経営健全化計画の策定について
- 第 9 議案第 4 号 黒石市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第 10 議案第 5 号 黒石市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例制定について
- 第 11 議案第 6 号 黒石市都市計画審議会条例の一部を改正する条例制定について
- 第 12 議案第 7 号 黒石市小作料協議会条例を廃止する条例制定について
- 第 13 議案第 8 号 黒石市特別職の職員の給料等に関する条例等の一部を改正する条例制定について
- 第 14 議案第 9 号 黒石市一般職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について
- 第 15 議案第 10 号 黒石市一般職職員の給与の特例に関する条例等の一部を改正する条例制定について
- 第 16 議案第 11 号 単純な労務に雇用される一般職に属する黒石市職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第 17 議案第 12 号 黒石市認定特定民間中心市街地活性化事業計画に係る商業基盤施設に対する固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第 18 議案第 13 号 黒石市西十和田ユース・ホステル設置条例を廃止する条例制定について
- 第 19 議案第 14 号 黒石市上下水道事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第 20 議案第 15 号 権利の放棄について
- 第 21 議案第 16 号 権利の放棄について
- 第 22 議案第 17 号 市道の路線廃止について
- 第 23 議案第 18 号 市道の路線認定について
- 第 24 議案第 19 号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 第 25 議案第 20 号 平成 21 年度黒石市一般会計補正予算(第 10 号)

- 第26 議案第21号 平成21年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
- 第27 議案第22号 平成21年度黒石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
- 第28 議案第23号 平成21年度黒石市介護保険特別会計補正予算(第4号)
- 第29 議案第24号 平成21年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計補正予算(第6号)
- 第30 議案第25号 平成22年度黒石市一般会計予算
- 第31 議案第26号 平成22年度黒石市国民健康保険特別会計予算
- 第32 議案第27号 平成22年度黒石市老人保健特別会計予算
- 第33 議案第28号 平成22年度黒石市後期高齢者医療特別会計予算
- 第34 議案第29号 平成22年度黒石市姥懐霊園墓地特別会計予算
- 第35 議案第30号 平成22年度黒石市介護保険特別会計予算
- 第36 議案第31号 平成22年度黒石市観光施設事業特別会計予算
- 第37 議案第32号 平成22年度黒石市簡易水道特別会計予算
- 第38 議案第33号 平成22年度黒石市温泉供給事業特別会計予算
- 第39 議案第34号 平成22年度黒石市農業集落排水事業特別会計予算
- 第40 議案第35号 平成22年度黒石市土地取得特別会計予算
- 第41 議案第36号 平成22年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計予算
- 第42 議案第37号 平成22年度黒石市水道事業会計予算
- 第43 議案第38号 平成22年度黒石市下水道事業会計予算
- 第44 議案第39号 平成22年度黒石市中川財産区会計予算
- 第45 議案第40号 平成22年度黒石市上十川財産区会計予算
- 第46 議案第41号 平成22年度黒石市追子野木財産区会計予算
- 第47 議案第42号 平成22年度黒石市温湯財産区会計予算
- 第48 議案第43号 平成22年度黒石市袋財産区会計予算

市長提案理由説明

第49 予算特別委員会設置について

出席した事務局職員職氏名

| | |
|---------|-------|
| 事務局長 | 奥野正行 |
| 次長 | 長谷川直伸 |
| 主幹兼議事係長 | 太田誠 |
| 議事係主査 | 山谷成人 |

会議の顛末

午前10時01分 開 会

議長（斎藤直文） ただいまから、平成22年第1回黒石市議会定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事は、議事日程第1号をもって進めます。

議長（斎藤直文） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第80条の規定により、議長において7番北山一衛議員、11番鳴海泰三議員を指名いたします。

議長（斎藤直文） 日程第2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日から3月16日までの14日間といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 御異議なしと認めます。

よって、会期は14日間と決定いたしました。

議長（斎藤直文） この際、諸般の報告をいたします。

まず、議長、事務局長において、平成21年度青森県市議会議長会第3回定期総会に出席いたしましたので、別紙のとおり御報告いたします。

次に、監査委員から、例月出納検査報告並びに定期監査報告、教育委員会から、平成20年度黒石市教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書が提出されました。よって、お手元に配付しておきましたので、御了承願います。

次に、議員派遣の件について、別紙議員派遣承認報告書のとおり、閉会中、議長において議員派遣を承認いたしましたので、御報告いたします。

議長（斎藤直文） 日程第3 報告第1号から、日程第48 議案第43号まで、合わせて46件を一括上程いたします。

この際、理事者から提案理由の説明を求めます。市長。

登 壇

市長（鳴海広道） 平成22年第1回定例会の開会に当たり、市政運営について所信の一端を申し述べ、あわせて今回上程しました条例案並びに新年度の一般会計予算案など46件につい

て、順次御説明申し上げます。

私が市政を預かり、早いもので3期目最後の年となりましたが、就任以来、一貫して「財政再建」を最重要課題としてとらえ、必ず事態は好転するという強い信念のもと、誠心誠意、全力で職務を全うしてまいりました。

10年という歳月を費やし、行財政改革の努力もようやく形としてあらわれ、平成20年度決算において一般会計は黒字となり、さらに「財政健全化法」4指標の判断基準すべてを下回ることができました。また、起債残高もすべての会計の合計で平成11年度から約100億円も減額になる見込みとなっております。

これもひとえに市民並びに市議会議員の御理解と御協力のたまものであると、深く感謝しております。

しかしながら、いまだに企業会計の資金不足や、特別会計の赤字が多額であることから、引き続き20年11月に策定した「行財政運営方針」及び賃金不足比率が基準以上であった各会計の経営健全化計画を着実に履行し、真の財政健全化を目指してまいりたいと考えております。

さて、我が国の地方財政の状況は、世界的な景気後退が続く中、依然として先行き不透明であります。

この状況を反映し、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が急激に落ち込む中で、社会保障関係経費の自然増やバブル経済崩壊後の経済対策に加え、減税の実施による地方債の増発により、公債費が高い水準で推移するなど、厳しい財政状況が続くものと見込まれます。

したがって、平成22年度の予算案は、「すべての会計の財政健全化」、「自主財源の確保」、「将来負担の軽減」、これに国が示す「地方財政計画」の指針を踏まえて編成いたしました。

結果として、一般会計当初予算案は、3年連続で単年度黒字を見込んでおり、対前年比7,700万円、0.5%微増の146億5,600万円となったほか、一般会計と企業会計、特別会計の合計額は、305億7,050万3,000円、0.3%減の予算規模となっております。

次に、新年度の重点施策の概要についてであります。新長期総合プランの「まちづくりの目標」ごとに掲げた主要施策は、全部で27項目ございます。ここでは、特に重点事業について御説明申し上げます。

新規の重点事業としては、「小学校新入学児童支援事業」、「住宅耐震診断支援事業」、「中町こみせ通り親水空間創出事業」、「果樹共済加入促進助成事業」の4事業を実施したいと考えております。

まず、「小学校新入学児童支援事業」は、小学校に入学する児童の保護者へ、黒石共通商品

券2万円分を支給することで経済的負担を軽減し、あわせて地域の活性化を図ろうとするものであります。

次に、「住宅耐震診断支援事業」は、県内における住宅耐震診断率が全国的に低いことから、住宅の耐震診断を行おうとする市民の費用負担を軽減するため、助成金を交付するものであり、地震に対する住宅の安全性に関する意識の啓発と、災害に強いまちづくりを目指すものでございます。

「中町こみせ通り親水空間創出事業」は、こみせ通りの前堰に水を流し、かぐじ広場と一体となった親水空間を創出することで、いやしを兼ねた景観形成と歴史的町並み景観を生かしたまちづくりを推進しようとするものであります。

100億円農業対策の一環として実施したいと考えております「果樹共済加入促進助成事業」は、気象災害時に被害を受けた果樹農家の経営の安定を維持するためのもので、平成23年度までの2カ年事業とし、果樹共済加入率50%の達成を目標としております。具体的には、共済掛金の10%を助成するものでございます。

次に、継続事業であります「第3子以降3歳未満児の保育料無料化」、「短命市返上健康長寿対策事業」、「りんご苗木助成事業」、「くろいし共通プレミアム商品券発行事業への支援」を重点事業といたしました。

まず、「第3子以降3歳未満児の保育料無料化」については、昨年同様、多子世帯における負担を軽減するとともに、安心して生み育てることができる環境の整備を図るため、継続したいと考えております。

次に、「短命市返上健康長寿対策事業」については、子宮がん・乳がん検診の無料化を新たに追加いたします。このことにより受診率を向上させ、早期発見・早期治療と健康意識の啓発を促し、さらなる健康長寿都市の実現を目指すものでございます。

「りんご苗木助成事業」は、青森県の今後の奨励品種である「あおり21」の苗木に対して助成するもので、生産拡大を推進し、りんご農家の所得向上を図ることを目的としながら、「100億円農業」の実現を目指したいと思っております。

最後に、地域経済活性化を図るため、昨年に引き続き、くろいし共通プレミアム商品券の発行を積極的に支援したいと考えております。黒石商工会議所及び黒石商店街協同組合の強い要望と、繰り返し利用できる「地域通貨」としての経済効果などを考慮し、プレミアムつき商品券のプレミアム分を市が支援するもので、消費需要の喚起及び地域の景気浮揚につながるものと思っております。

それでは、各議案の説明に入りたいと思っております。

まず、報告第1号は、処分第1号「平成21年度黒石市一般会計補正予算（第8号）」であ

りますが、歳入歳出それぞれ3億1,251万円を減額し、予算の総額を158億7,978万2,000円にしたものでございます。

歳出は、2款 総務費で財政調整基金積立金4,260万円、3款 民生費で生活保護総務費住宅手当緊急特別措置事業費扶助費279万円を追加する一方、6款 農林水産業費で南津軽地区農道保全工事費3,800万円を減額、8款 土木費で市道黒石高田線道路改良工事費1億5,240万円など3億1,990万円を減額いたしました。

歳入は、13款 国庫支出金279万円を追加し、20款 市債3億1,530万円を減額いたしました。

次に、報告第2号は、処分第2号「平成21年度黒石市一般会計補正予算(第9号)」であります。除雪経費の追加計上に伴い、2款 総務費で財政調整基金積立金を2,500万円減額し、8款 土木費に2,500万円を追加したものであります。

報告第3号は、「権利の放棄について」であります。黒石市債権管理条例第13条第1項の規定に基づき、災害援護資金貸付金7件、市営住宅使用料2件の私債権を放棄したので、同条第2項の規定により報告するものでございます。

次の議案第1号「黒石市観光施設事業特別会計経営健全化計画の策定について」、議案第2号「黒石市温泉供給事業特別会計経営健全化計画の策定について」及び議案第3号「黒石市下水道事業会計経営健全化計画の策定について」の3件は、個別外部監査により、要因を指摘する結果がまとまったのを受け、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第23条第1項の規定に基づき、それぞれ経営健全化計画を策定したので、同法第24条で準用する同法第5条第1項の規定に基づき、議会の議決を要するものであります。

議案第4号は、「黒石市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例制定について」であります。黒石市立小・中学校適正配置検討委員会の設置等に伴い、所要の改正をしようとするものでございます。

次の議案第5号「黒石市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例制定について」並びに議案第6号「黒石市都市計画審議会条例の一部を改正する条例制定について」は、当市行政組織の一部見直しに伴い、所要の改正をしようとするものであります。

議案第7号は、「黒石市小作料協議会条例を廃止する条例制定について」であります。農地法の一部改正により、標準小作料制度が廃止されたことに伴い、黒石市小作料協議会を廃止するため、提案するものでございます。

次に、議案第8号は、「黒石市特別職の職員の給料等に関する条例等の一部を改正する条例制定について」であります。厳しい財政事情が続くものと判断し、市長、副市長、識見を有する者の中から選任された監査委員及び教育長の給料月額並びに非常勤職員の報酬額を引き続

き減額することについて、所要の改正をしようとするものであります。

議案第9号は、「黒石市一般職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について」であります。国及び県の改正等に準じ、時間外勤務手当の支給割合等について改定し、あわせて特殊勤務手当を廃止するため、所要の改正をしようとするものでございます。

次に、議案第10号は、「黒石市一般職職員の給与の特例に関する条例等の一部を改正する条例制定について」であります。一般職職員の給料月額並びに期末手当及び勤勉手当を減額して支給するための減額率及び特例期間について、所要の改正をしようとするものであります。

議案第11号は、「単純な労務に雇用される一般職に属する黒石市職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について」であります。病院事業に地方公営企業法の全部を適用することに伴い、特殊勤務手当の支給根拠は病院事業内で規定することとなるため、所要の改正をしようとするものでございます。

次に、議案第12号は、「黒石市認定特定民間中心市街地活性化事業計画に係る商業基盤施設に対する固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例制定について」であります。中心市街地の活性化に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正をしようとするものであります。

議案第13号は、「黒石市西十和田ユース・ホテル設置条例を廃止する条例制定について」であります。黒石市西十和田ユース・ホテルを廃止することについて、国との協議が整ったため、提案するものでございます。

次に、議案第14号は、「黒石市上下水道事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について」であります。人事院及び青森県人事委員会の勧告に準じ、上下水道事業職員の住居手当に係る支給対象職員の範囲を改定し、あわせて特殊勤務手当を廃止するため、所要の改正をしようとするものであります。

議案第15号並びに議案第16号は、いずれも「権利の放棄について」であります。地方自治法第96条第1項第10号の規定により、提案するものでございます。

次に、議案第17号は、「市道の路線廃止について」であります。三島安入・赤坂6号の2路線を廃止するため、道路法第10条第3項の規定により提案するものであります。

議案第18号は、「市道の路線認定について」であります。赤坂9号・安入の2路線を認定するため、道路法第8条第2項の規定により提案するものでございます。

次に、議案第19号は、「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」であります。人権擁護委員法第6条第3項の規定により、人権擁護委員を推薦しようとするものであります。

議案第20号は、「平成21年度黒石市一般会計補正予算(第10号)」であります。歳

入歳出それぞれ2,148万3,000円を減額し、予算の総額を158億5,829万9,000円にしようとするものでございます。

まず、歳出の主なものは、2款 総務費で、財政調整基金積立金2,162万6,000円の減などで1,679万2,000円を減額、3款 民生費で、保育所運営費扶助費1億1,168万2,000円の減、子育て応援特別手当支援事業費3,412万9,000円の減など1億6,251万6,000円の減額、8款 土木費では、国の第2次補正予算において創設された「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」を活用し、東公園のトイレ新設工事費・遊具整備事業費4,000万円、駅前駐輪場整備事業費3,000万円、市道黒石高田線側溝整備工事費2,839万円など1億3,566万6,000円を追加するものでございます。

歳入の主なものは、13款 国庫支出金で、「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」1億3,369万7,000円の追加、保育所運営費負担金4,573万6,000円の減額などで6,025万2,000円の追加、14款 県支出金は、保育所運営費負担金の減などに伴い5,218万9,000円の減額、20款 市債では、1,980万円を減額しようとするものでございます。

議案第21号は、「平成21年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)」であります。歳入歳出それぞれ1,784万5,000円を減額し、予算の総額を47億479万5,000円にしようとするものでございます。

歳出は、療養給付費等の不足により保険給付費を追加、歳入は、繰入金を追加する一方、療養給付費等交付金を減額しようとするものであります。

次に、議案第22号は、「平成21年度黒石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)」であります。歳入歳出それぞれ2,347万1,000円を減額し、予算の総額を2億7,119万円にしようとするものでございます。

歳入歳出とも、青森県後期高齢者医療広域連合負担金がおおむね確定したこと等に伴い、減額しようとするものであります。

議案第23号は、「平成21年度黒石市介護保険特別会計補正予算(第4号)」であります。歳入歳出それぞれ511万2,000円を追加し、予算の総額を28億8,795万9,000円にしようとするものであります。

介護施設にスプリンクラー等を整備する地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金事業の実施に伴い、歳入歳出とも追加しようとするものでございます。

次に、議案第24号は、「平成21年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計補正予算(第6号)」であります。まず、収益的収入及び支出では、収入予定額を1億4,285万8,000円減額し、予算の総額を44億9,674万4,000円にしようとするものであります。

す。

また、資本的収入及び支出では、不足分を補うための第3条予算からの組みかえなどが主なものでございます。

議案第25号は、「平成22年度黒石市一般会計予算」であります。さきに申しあげましたように、平成22年度一般会計予算案は、歳入歳出とも146億5,600万円であります。

まず、歳出から御説明いたします。

1款 議会費は、1億3,767万7,000円ではありますが、議員報酬等の人件費が主なものでございます。

2款 総務費は、14億3,776万8,000円ではありますが、総務管理費9億9,320万4,000円、徴税費2億6,157万3,000円のほか、戸籍住民基本台帳費等であります。

3款 民生費は、54億8,056万1,000円ではありますが、障害者福祉費、老人福祉費などの社会福祉費が22億3,300万7,000円、児童措置費などの児童福祉費が22億8,152万3,000円、生活保護費9億6,603万1,000円でございます。

4款 衛生費は、11億5,609万円ではありますが、母子保健費7,591万8,000円、生活習慣病予防対策費4,613万5,000円、病院費4億4,789万9,000円、黒石地区清掃施設組合負担金などの清掃費が3億7,637万2,000円であります。

5款 労働費は、1,467万2,000円ではありますが、黒石市シルバー人材センター補助金が主なものでございます。

6款 農林水産業費は、3億4,566万4,000円ではありますが、農業振興費1,150万7,000円、農地費3,811万円、中山間地域農村活性化総合整備事業費5,489万7,000円などが主なものであります。

7款 商工費は、4億7,782万8,000円ではありますが、主なものは、黒石市特別保証制度貸付金1億円、商工組合中央金庫貸付金3,000万円、観光施設事業特別会計への繰出金が7,878万9,000円、温泉供給事業特別会計繰出金2,029万9,000円などでございます。

8款 土木費は、10億2,108万8,000円ではありますが、道路維持費7,132万円、道路整備事業費1億1,429万円、除雪対策費1億5,463万4,000円、雪寒地域道路事業費3,434万1,000円、公園管理費5,969万9,000円、下水道事業会計への補助金4億3,146万9,000円などが主なものでございます。

9款 消防費は、7億6,204万2,000円ではありますが、黒石市消防団事務委託料及び黒石地区消防事務組合負担金などでございます。

10款 教育費は、10億6,694万7,000円ですが、教育委員会事務局費及び指導費を中心とした教育総務費1億9,292万1,000円、小・中学校費4億4,615万8,000円、社会教育費2億8,823万5,000円のほか、幼稚園費、保健体育費などを計上しております。

11款 災害復旧費は、108万4,000円です。

12款 公債費は、各種市債などの償還費用として、27億3,457万9,000円を計上しております。

13款 予備費は、2,000万円です。

歳入については、市税29億6,938万7,000円、地方交付税62億5,500万円、国庫並びに県支出金合わせて31億3,348万円のほか、地方消費税交付金を初めとする各種交付金や市債7億3,290万円を計上しております。

次に、議案第26号は、「平成22年度黒石市国民健康保険特別会計予算」であります。歳入歳出とも総額は、46億1,015万7,000円で、まず、歳出の主なものは、保険給付費30億1,883万8,000円、後期高齢者支援金等5億4,808万円、介護納付金2億8,890万1,000円、共同事業拠出金5億8,943万4,000円などです。

歳入の主なものは、国民健康保険税12億2,198万円、国庫支出金15億1,727万7,000円、前期高齢者交付金5億9,453万4,000円、共同事業交付金5億8,943万1,000円などです。

議案第27号は、「平成22年度黒石市老人保健特別会計予算」であります。歳入歳出とも総額は、1,474万3,000円で、歳出は諸支出金、歳入は繰越金が主なものです。

次に、議案第28号は、「平成22年度黒石市後期高齢者医療特別会計予算」であります。

歳入歳出とも総額は、2億9,562万7,000円で、歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金2億6,912万9,000円、総務費2,549万円です。

歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料1億6,001万円、繰入金1億2,933万9,000円です。

議案第29号は、「平成22年度黒石市姥懐霊園墓地特別会計予算」ですが、歳入歳出とも総額は、1,136万4,000円で、歳出の主なものは、総務費468万4,000円、予備費578万5,000円です。

歳入の主なものは、使用料及び手数料です。

議案第30号は、「平成22年度黒石市介護保険特別会計予算」であります。歳入歳出とも

総額は、28億4,991万円で、まず、歳出の主なものは、保険給付費26億5,253万9,000円、総務費1億4,193万7,000円、地域支援事業費5,519万1,000円でございます。

歳入の主なものは、保険料4億7,416万7,000円、国庫支出金7億2,386万6,000円、県支出金3億8,687万6,000円、支払基金交付金7億9,855万3,000円、繰入金4億5,058万6,000円であります。

次に、議案第31号は、「平成22年度黒石市観光施設事業特別会計予算」であります、歳入歳出とも総額は、7,878万9,000円であります。

歳出は事業費3,254万1,000円、公債費1,762万6,000円、予備費2,862万2,000円で、歳入は、繰入金でございます。

次に、議案第32号は、「平成22年度黒石市簡易水道特別会計予算」であります、歳入歳出とも総額は、2,145万2,000円で、歳出は、事業費並びに予備費、歳入の主なものは、使用料及び手数料でございます。

議案第33号は、「平成22年度黒石市温泉供給事業特別会計予算」であります、歳入歳出とも総額は、3,499万7,000円で、まず、歳出は、事業費939万8,000円、公債費107万7,000円、予備費2,452万2,000円を計上しております。

主な歳入は、使用料及び手数料並びに繰入金であります。

次に、議案第34号は、「平成22年度黒石市農業集落排水事業特別会計予算」であります。歳入歳出とも総額は、1,954万7,000円で、主な歳出は事業費並びに公債費、一方、歳入は、繰入金、使用料及び手数料などでございます。

議案第35号は、「平成22年度黒石市土地取得特別会計予算」で、歳入歳出とも総額は、4億1,600万3,000円あります。

主な歳出は、公共用地取得事業費で、主な歳入は、市債であります、第2次黒石市土地開発公社経営健全化計画に基づき、公共用地先行取得事業債で旧アクアリゾートパーク整備予定地の一部を、土地開発公社から再取得するためのものがございます。

次に、議案第36号は、「平成22年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計予算」であります。

まず、収益的収入及び支出では、収入支出とも総額が47億7,003万6,000円で、支出予定額は、医業費用44億1,049万4,000円のほか、支払利息及び企業債取扱諸費等医業外費用が主なものであります。収入予定額は、医業収益46億8,625万円が主なものでございます。

資本的収入及び支出では、収入支出とも総額が4億3,929万2,000円となり、支出

予定額の主なものは、公立病院特例債償還金や企業債償還金、収入予定額の主なものは、他会計負担金であります。

議案第37号は、「平成22年度黒石市水道事業会計予算」であります。

まず、収益的収入及び支出では、支出予定額が7億3,467万4,000円、収入予定額が8億3,699万円となっております。支出は、原水及び浄水費などの営業費用が主なもので、収入は、給水収益など営業収益などでございます。

資本的収入及び支出では、支出予定額に建設改良費や企業債償還金2億8,890万9,000円を計上し、支出に対する不足額については、過年度分損益勘定留保資金等で補てんすることとしております。

議案第38号は、「平成22年度黒石市下水道事業会計予算」であります。まず、収益的収入及び支出では、支出予定額が6億4,179万円、収入予定額は4億1,390万3,000円となっております。支出は、営業費用・営業外費用が、収入は、下水道使用料等営業収益が主なものであります。

資本的収入及び支出では、収入支出とも6億5,719万6,000円でございます。

次の議案第39号から議案第43号までは、平成22年度の各財産区会計の予算であります。議案の順に歳入歳出予算の総額を申し上げますと、中川財産区が69万9,000円、上十川財産区830万2,000円、追子野木財産区189万円、温湯財産区1,906万2,000円、袋財産区が6万4,000円でございます。

以上、平成22年度を迎えるに当たっての所信の一端と、議案の内容を簡単に申し上げましたが、会期中には、「教育委員会委員の任命について」を追加提案する予定でありますので、ただいま申し上げました議案とあわせて、原案どおり御承認並びに御議決賜りますようよろしくお願い申し上げます。

降壇

議長（斎藤直文） お諮りいたします。

ただいま上程いたしました案件については、議事の都合により、後刻審議いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 御異議なしと認めます。

よって、これらの案件については後刻審議することに決しました。

議長（斎藤直文） 日程第49 予算特別委員会設置についてを議題といたします。

お諮りいたします。

先ほど上程いたしました案件のうち、平成22年度各会計予算については、議員全員をもって構成する予算特別委員会を設置し、これに付託の上、審議いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(斎藤直文) 御異議なしと認めます。

よって、平成22年度各会計予算については、議員全員をもって構成する予算特別委員会を設置し、これに付託の上、審議することに決しました。

なお、予算特別委員会は本会議終了後、引き続きこの場所において開きますので、よろしくお願いたします。

議長(斎藤直文) この際、お諮りいたします。

議案調査、委員会審査等のため、3月4・5・6・7・8・10・11・12・13・14・15日の11日間、休会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(斎藤直文) 御異議なしと認めます。

よって、11日間休会することに決しました。

議長(斎藤直文) 本日はこれにて散会いたします。

午前10時45分 散会

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

平成22年3月3日

黒石市議会議長 斎藤直文

黒石市議会議員 北山一衛

黒石市議会議員 鳴海泰三